Shall we dance?

社交ダンス講師　山川　勇さん

市民の顔が見える広報を目指し、地域おこし協力隊がまちへ飛び出て地域の皆さんをクローズアップ！
今回は、社交ダンス指導員をされている山川勇さん。
長年続けている社交ダンスや交通安全運動を通して、いきいきと毎日を楽しむ山川さんにお話を伺いました。

社交ダンスを始めたきっかけは？

若い頃に、公民館講座で「夫婦で習う社交ダンス」という講座があったので、夫婦で一緒に参加したことがきっかけですね。当時、『Shall We Dance?』という映画が流行っていたので、その影響もあったんですよ。最初は、ただダンスすることが楽しくて続けていたのですが、技術などが上達するにつれて、当時指導してもらっていた先生に『指導員になったら？』と声をかけていただき、社交ダンス指導員の資格を取得したんです。

社交ダンスの魅力は？

人との交流ですね。社交ダンスは一人だけでは出来ませんし、相手がいてこそ成り立つものですから。相手の目を見て、呼吸を合わせてダンスしますので、考えながら楽しむことが出来ます。講師となったいまでも、さらに技術を向上させるため週に一度市外の先生にダンスを習いに行っているんですよ。もう何十年も社交ダンスをしていますが、曲によって全く内容が異なって、奥が深いんです。この年になっても、もっと上達したいと思う気持ちが強いですね。

社交ダンスを続ける理由は？

続けられるのは、やっぱり楽しいからですかね。社交ダンスって足腰を使うので、健康維持に最適なんですよ。それに、いろんな人と交流できるから、若い人のパワーを貰ったりして老化防止や認知症の予防にもなります。そして、女房と同じ趣味をやるから、一緒になってダンスの振り付けなど試行錯誤できる時間は、夫婦にとって大切な時間になっています。なので、社交ダンスは僕たち夫婦円満の秘訣なんですよ(笑)。

これからの目標は？

いまはしばらく発表会が無いので、のんびりと社交ダンスを参加者の皆さんと楽しんでいます。現在、男性の参加者が少ないので、増えるといいなと感じますね。また、僕ら自身としては、健康なうちはいつまでも夫婦で社交ダンスを続けていきたいと思っています。いま社交ダンスをやめたら、一気に老化が進みそうでちょっと怖いです(汗)。

長年、交通指導員として地域の交通安全運動に尽力されている山川さん。子ども達の元気な挨拶が、何よりもの励みだそうです。「信号が無い場所は特に、子どもたちの安全に気を遣っています。」と、真剣な表情で話す姿が印象的でした。

地域おこし協力隊 まちの情報発信部門
愛知県出身　野口暢子

念願の『あかびら火まつり』のステージで、赤平火太鼓保存会の子どもたちと演奏しました！緊張以上に楽しさが打ち勝って、無我夢中で叩いていました（笑）。来年もこの舞台に立ちたいです！

～地域の魅力発信中！～赤平市地域おこし協力隊 Facebook　https://www.facebook.com/386325738173403